

計量経済学 受講生へ

河田 正樹

2006 年 9 月 25 日

講義の目的と進め方

この科目は計量経済学の理論を習得することを目的とします。計量経済学の理論を習得するためには統計学についての知識が基礎となるので、この講義では統計学を既に履修済みの学生を対象として進めていきます。統計学に関する基礎知識の無い学生は、統計学の復習の講義（最初の数回をわりあてる）の際に、多数の演習問題を解き、補うようにしてください。

また、計量経済学を理解するには、実際のデータを使った分析をやる必要があります。そのため、表計算ソフト Excel や、計量経済学ソフト TSP を用いたコンピュータを使った実習もおこないます。Excel の分析ツールが使えることが前提として講義を進めていきます。

この科目は教室における講義と、コンピュータ実習の組合せによって成り立っている科目で、その割合は講義 7 割、実習 3 割と考えておいてください。

- 講義形態 … 教科書・スライドを用いた講義と練習問題（理論面）、コンピュータ実習（実際のデータの分析）
- 出欠 … 出席はとりませんが、授業中に随時の問題演習やコンピュータ実習をおこなうので、遅刻・欠席はしないようにしてください。
- 授業中のマナー … 携帯等厳禁、私語については相談は良いがそれ以上は厳禁とします。
- 評価 … 期末試験、実習課題、レポートなどによって総合的に評価する。試験は講義中の演習問題をきちんとこなしていれば出来るはずである。

テキスト

水野 勝之 (2005) 『テキスト 計量経済学』(第 2 版) 中央経済社

もし買いたくない場合でも、コピーは必ず用意してください(図書館にも入れてあります)。

質問等

講義時間中の疑問はその場で解決するようにしてください。わからないことがあったら遠慮なく聞いてください。講義時間中以外に質問がある場合には、オフィスアワーの利用が 1 つの手です。オフィスアワーは火曜日の 2 限です。この時間以外にも、月曜、火曜は大体大学に居るので 514 研究室を訪ねてみてください。

また、e-mail での質問も随時受け付けています。アドレスは kawada@tokuyama-u.ac.jp です。

講義用ホームページ

事務連絡、出席状況や課題提出状況など有用な情報を講義用 HP に掲載します。コンピュータ室や自宅から閲覧してください。アドレスは <http://www2.tokuyama-u.ac.jp/kawada> です。